

12月19日(土) 南山大学 名古屋キャンパス B棟

12:30 – 12:35	Opening Session –Masanori Fushimi (Nanzan University)–
12:35 – 13:35	Session 1 座長：田中 健一（電気通信大学）
	東京都区内における交差点と道路網 渡部 大輔（東京海洋大学）
	道路網の日向経路と日陰経路 菴木 嶺（筑波大学）
	名古屋市の道路網に関する研究 木下 龍一（南山大学）
休憩	
13:45 – 14:45	Session 2 座長：小林 隆史（北海道大学）
	個人の時空間上の行動パターンを考慮したサービス集客数の最大化問題 本田 薫（慶應義塾大学）
	ベイジアンネットワークを用いた買い回り行動の分析：東京都自由が丘を事例として 廣川 貴久（中央大学）
	旅客交通機関選択モデル 上嶋 悠紀代（南山大学）
休憩	
15:00 – 16:10	Session 3 Chair：Mihiro Sasaki (Nanzan University)
	Investigation of Maglev Routes in the United States by Using a Logit Model Hidetoshi Miura (Meikai University)
	An Approximate Parallel Solution of the Vertex p-Center Problem Using Network Voronoi Diagram Hajime Miyazawa (Nanzan University)
	Modeling flexible EMS services Richard Church (University California, Santa Barbara)
休憩	
16:25 – 17:55	Session 4 Chair：Hidetoshi Miura (Meikai University)
	Demand Model for Japanese Domestic Transport Market Xiaowen Fu (Hong Kong Polytechnic University)
	Effects of CO2 Taxation on Air - High Speed Rail Competition on Tokyo-Osaka market Tae-Hoon Oum (Nanzan University)
	High-speed Intercity Transport in Japan – Past, Present and the Future – Katsuhiro Yamaguchi (University of Tokyo)
19:30 – 21:30	懇親会（名古屋ガーデンパレス）

12月20日(日)ホテル名古屋ガーデンパレス

	Session 5 座長：本間 裕大(首都大学東京)	
9:00 – 10:20	倒景の分析 使用済み製品の回収点とリサイクル施設の最適配置問題 縮小時代における施設逐次配置-貪欲算法とけちけち算法- 階層型施設配置モデルを用いた集団下校経路の決定手法	田代 泰史(筑波大学) 小林 宏和(電気通信大学) 淵田 隆臣(筑波大学) 吉田 祐太(中央大学)
休憩		
	Session 6 座長：鳥海 重喜(中央大学)	
10:35 – 11:35	経年メッシュデータを用いた過疎地域人口分析 市町村総合計画における計画人口の過大性について 多種類の都市施設の相互立地関係の構造分析	古藤 浩(東北芸術工科大学) 松丸 仁(筑波大学) 鄭 起宅(筑波大学)
昼食		
	Session 7 座長：宮川 雅至(山梨大学)	
12:50 – 14:10	優等列車の停車駅決定問題と最適ダイヤの設計 鉄道輸送障害時の旅客流動を考慮した運転整理案 東京圏鉄道ネットワークにおけるパンデミック時の通勤輸送シミュレーション 災害時の搬送モデルについて	広戸 晶(慶應義塾大学) 小澤 勇紀(中央大学) 斉藤 涉(首都大学東京) 波多野 達(南山大学)
休憩		
	Session 8 座長：稲川 敬介(秋田県立大学)	
14:25 – 15:25	高速道路料金割引制度が観光地訪問に与える影響 高速道路料金が交通状況へ与える影響の分析 三角形メッシュに対する特徴線抽出手法	鈴木 信好(筑波大学) 伊藤 圭(中央大学) 金 寛宰(中央大学)
15:25 – 15:30	Closing Session –Takeshi Koshizuka (Nanzan University)–	